

スタンプ対象駅

12 駅

上州富岡駅

駅 紹介

明治初期に設立された、日本初の本格的機械製糸工場である富岡製糸場への最寄り駅です。2014(平成26)年完成の開放的な駅舎は、鉄骨柱にレンガ壁を巻き付けた斬新なデザインで、富岡製糸場への玄関口であることを表現しています。

上信電鉄

群馬県で最も人口が多い都市・高崎と下仁田を結び33.7キロの路線です。群馬県南西部の通勤・通学輸送を担うほか、世界遺産の富岡製糸場やパワースポットの真前神社などがあり、観光で利用する方も少なくありません。

長瀬駅

駅 紹介

長瀬ラインくだりや宝登山観光など長瀬観光の中心駅。1911(明治44)年の開業以来ほとんど姿を変えていない木造駅舎は、三角形を4つ合わせた赤い方形造りの屋根と尖塔が印象的で、長瀬の自然に溶け込んでいます。

秩父鉄道

羽生～三峰間71.7キロの路線で、沿線には長瀬などの観光地や秩父三社などの名所があり、観光列車「SLパレオエクスプレス」も運行されています。また、石灰石の貨物輸送も担っています。

所沢駅

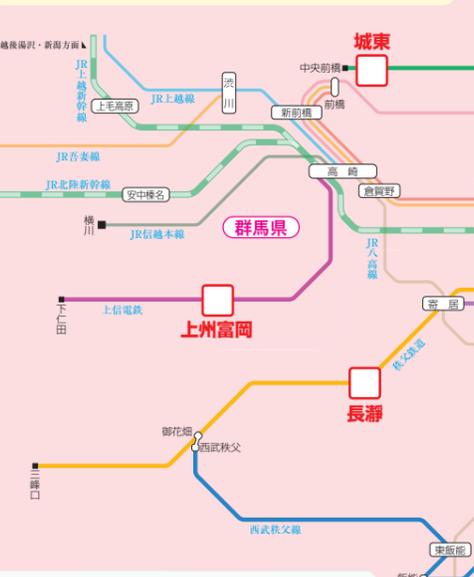
駅 紹介

池袋線と新宿線が交差する結節点で、改札内の屋外デッキからは電車の往来を見ることができます。また、駅直結の商業施設「グランエミオ所沢」3階の「とこにわ」には、レールやマクラギ、電車の車止めなどが展示された鉄道モニュメントがあります。

城東駅

駅 紹介

前橋市内の住宅地にある、駅舎のない小さな無人駅です。カーブの途中にあり、元京王井の頭線や元東京メトロ日比谷線の電車が車体を揺らしながら発着します。ゴーカートなどを楽しめる前橋子ども公園の最寄り駅でもあります。



原市駅

駅 紹介

埼玉県上尾市に位置し、緑豊かな住宅地にある駅です。ニューシャトルの多くの駅と同様、東北・上越新幹線の線路の両側にホームがあり、見晴らしのよいホームからは新幹線が走行する様子や眺望が楽しめます。

西武鉄道

都心と埼玉県西部を結び池袋線と新宿線を中心に、西武秩父線、西武有楽町線、豊島線、狭山線、山口線、西武園線、国分寺線、拜島線、多摩湖線、多摩川線の計12路線があり、総延長は176.6キロに及びます。

湯西川温泉駅

駅 紹介

湯西川と男鹿川の合流点付近に位置する、トンネル内にホームがある駅です。「道の駅」を兼ねた駅構内には足湯や日帰り温泉施設があり、駅前からは水陸両用バスに乗って湯西川ダムなどの探索に出かけることもできます。



新井宿駅

駅 紹介

岩槻街道(国道122号)から県道を入ったところに位置し、今も緑や田畑が多く残る環境にある地下駅です。自然や遊具、歴史を学べる博物館など、大人から子どもまで楽しむことができる「イナパーク川口」の最寄り駅です。

埼玉高速鉄道

赤羽岩淵と浦和美園を結び14.6キロの路線で、「埼玉スタジアム線」の愛称でも親しまれています。2023年から東急新横浜線・相鉄線との直通運転が開始され、新横浜方面へのアクセスが向上し、ますます便利になりました。

真岡駅

駅 紹介

蒸気機関車をかたどった大きな駅舎は、真岡鐵道本社や真岡駅子ども広場などが入った複合施設。隣接する「SLキューロク館」では、9600形やD51形蒸気機関車をはじめ、キハ20形気動車など貴重な鉄道車両を保存展示しています。



那珂湊駅

駅 紹介

ひたちなか海浜鉄道の本社機能がある駅で、1913(大正2)年に湊鉄道として開業した時以来の木造駅舎が今も使われています。駅構内には車両基地もあり、日本初のステンレス車体の気動車キハ600形などが保存されています。

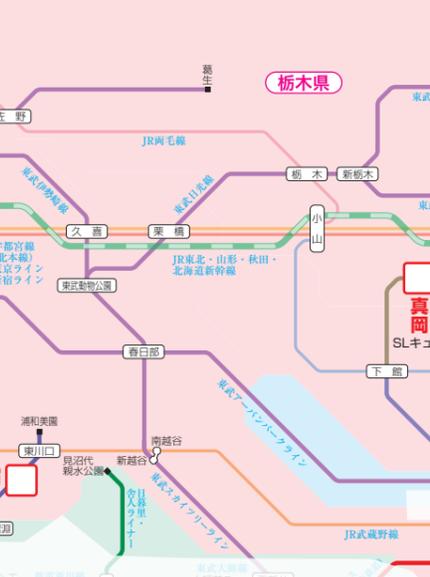
ひたちなか海浜鉄道

勝田から阿字ヶ浦まで14.3キロの路線で、11ある各駅には駅にちなんだイラストがデザインされた駅名標が設置されています。沿線には阿字ヶ浦海水浴場や国営ひたち海浜公園、おさかな市場などの観光地があります。

みらい平駅

駅 紹介

守谷駅の次にある交流区間最初の駅で、周囲にはつくばエクスプレスの開業によって大きく発展した住宅街が広がっています。大きなアーチ状の屋根が特徴で、地上1階のホームから2階のコンコースまで吹き抜け構造になっています。



三妻駅

駅 紹介

鬼怒川沿いの住宅地にある小さな無人駅です。駅の西を鬼怒川が流れ、東側は広大な水田が広がるなど、関東平野らしいのどかな景色を楽しめます。駅舎は、以前は関東鉄道の社員が寝泊まりしていた社宅のようです。

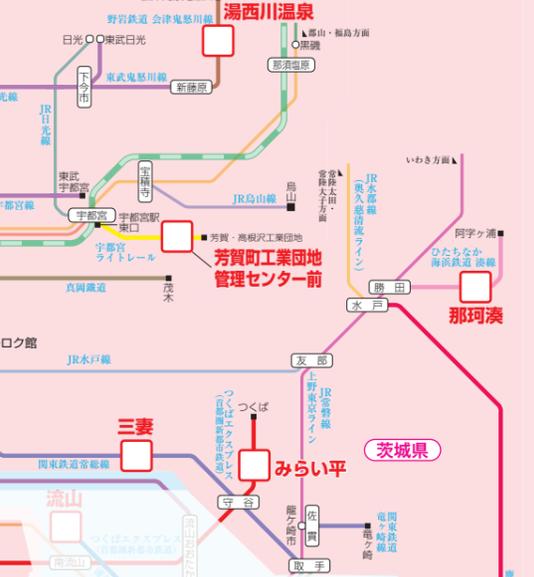
芳賀町工業団地管理センター前駅

駅 紹介

自動車関連企業の集まる芳賀町工業団地の中央に位置し、芳賀町中心部への乗り継ぎ拠点でもある停留場です。隣のかしの森公園前との間には、約60パーミル(1000メートル水平に進むごとに60メートルの高差)という全国有数の急勾配があります。

つくばエクスプレス

秋葉原から筑波研究学園都市のつくばまで58.3キロを結び路線で、最高時速130キロの高速運転が行われ、「つくばエクスプレス」の愛称で知られています。守谷を境に南側が直流電化区間、北側が交流電化区間となっています。



関東鉄道

常総線は茨城県南西部の取手～下館間を南北に結び51.1キロの路線で、取手～水海道間は複線化されていて高頻度運転が行われています。また電ヶ崎線は、龍ヶ崎市内の佐貫～電ヶ崎間4.5キロを走る独立した路線です。

宇都宮ライトレール

宇都宮駅東口～芳賀・高根沢工業団地間14.6キロを走る宇都宮芳賀ライトレール線は、次世代型路面電車(LRT)として2023年8月に開業しました。愛称は「ライトライン」で、国内外で大きな注目を集めています。全国で唯一、各駅停車と快速の種別が走る路面電車です。

※パンフレットに掲載の写真はイメージです。 ※4エリア全体のマップは関東鉄道協会のHPでもご覧いただけます。 <https://www.kantetsuky.jp/> ※鉄道各社の最新の運行情報は、各社HPなどを参照ください。